

# おしめ乾燥処理実績

令和2年4月～令和3年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
令和2年	4月	750	5,850	1,210	10,472	8,000	130.9%
	5月	603	4,040	1,010	6,839	8,000	85.5%
	6月	669	3,940	930	6,794	8,000	84.9%
	7月	649	5,040	960	9,209	8,000	115.1%
	8月	632	4,130	880	7,335	8,000	91.7%
	9月	618	3,710	790	6,590	8,000	82.4%
	10月	623	4,490	1,010	7,854	8,000	98.2%
	11月	672	3,930	790	7,087	8,000	88.6%
	12月	627	4,550	1,030	7,945	8,000	99.3%
令和3年	1月	491	4,050	850	7,222	8,000	90.3%
	2月	296	3,520	720	6,320	8,000	79.0%
	3月	125	0	0	0	8,000	0.0%
合計		6,756	47,250	10,180	83,667	96,000	87.2%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、

温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。